

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

(令和 6 年度 第 5 回)

施 設 名 : グループホームやまもも

施設種類 : 認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護

日 時 : 令和 7 年 1 月 21 日 (火) 14 時 00 分～

会 場 : 伊野本陣 ミーティングルーム

出 席 者 :

| | |
|----------------|---------------|
| 利用者家族様の代表 | 高齢者あんしん支援センター |
| 伊野コミュニティセンター所長 | 出雲市職員 |
| 地区民生委員 | 地区住民の代表 |

(議題)

- 1) 利用状況報告
- 2) 詳細報告
- 3) 活動報告
- 4) その他、意見交換

1. 利用状況（令和6年12月31日現在）

（1）登録者数 7名（男性1名／女性6名）

新規契約者（11月～12月）… なし

契約解除者（11月～12月）… 2名

待機者 4名

（2）介護度別入居者数

| | 要介護度 | | | | | 平均介護度 |
|-----|------|----|----|----|----|-------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 入居者 | 1人 | 0人 | 2人 | 2人 | 2人 | 3.6 |

（3）平均年齢

| | 最高年齢 | 最低年齢 | 平均年齢 |
|-----|------|------|-------|
| 入居者 | 93歳 | 75歳 | 85.7歳 |

2. 詳細報告

（1）入退所について

- ・ 93歳の女性 要介護2の方 11/30に退所。
 - ・ 88歳の男性 要介護1の方 12/25に退所。
- 2名とも入院され、今後も医療行為が必要な状態になり、療養病棟へ移られた。

（2）体調について

- ・ S.T様 11月上旬頃、起床時から発熱・嘔吐・腹痛・下痢症状があり。左鼠径部が赤く腫れていた。訪問診療の主治医に診てもらい救急搬送の指示を受ける。左鼠径部（そけいぶ）蜂窩織炎（ほうかしきえん）で入院となる。
- ・ S.Y様 11月上旬頃、朝に枕やシーツに多量の吐血があり、総合医療センターへ救急搬送される。検査に強い拒否がありすぐに病名分からず、検査と治療のため入院となる。

季節の変わり目で、発熱など体調を崩された利用者が何名か病院受診されていますが、コロナやインフルエンザの感染はありませんでした。

(3) ヒヤリハット報告

| 場所 | 居室・廊下 | ホール | 風呂・脱衣場 | トイレ | 離設 | 合計 |
|----|-------|-----|--------|-----|----|----|
| 件数 | 2 | 5 | 0 | 0 | 0 | 7 |

- ・普段、車椅子をご利用の方。訪室するとベッドから両足を下ろしていた。(2件)
- ・車椅子からずり落ちそうになったが、職員が気づき即座に対応する。(2件)
- ・車椅子のブレーキをかけず立とうとされてが、職員が気づき即座に対応する。(1件)
- ・歩行が不安定の方。ホールでソファからソファへ1人で移動されていた。(1件)
- ・車椅子の座席と車輪の隙間に手を入れておられた。(1件)

(4) 事故報告

| 場所 | 居室・廊下 | ホール | 風呂・脱衣場 | トイレ | 離設 | 合計 |
|----|-------|-----|--------|-----|----|----|
| 件数 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4 |

- ① 訪室すると、ベッド下の床に座っていた。(転倒?) 負傷はされていません。(2件)

◆ ①の事故報告の見解

2件とも同じ人で、骨折して入院し退院後に歩行が困難になった方。自身では歩けると思ひ立ち上がりとうして転倒されたようだ。
ベッドの高さを下げ、万が一転倒されても衝撃を和らげるように床にマットを設置した。

- ② 起床後トイレに行きトイレ内で転倒。負傷はされていません。(1件)

◆ ②の事故報告の見解

以前にも二度、急な転倒・意識消失で救急搬送されているが、どこも問題はなく精神的な「解離性昏迷」とのこと。一過性の意識障害のため、いつ発症するか分からない。居室から出られた際は、気にかけて見守るようにする。

- ③ 夜勤2名が他利用者対応で数秒目を離したすきにホールから姿が見えなくなった。
施設内を探し5分程で発見する。渡り廊下から外への出入口の外階段に座っていた。(1件)

◆ ③の事故報告の見解

以前にも離設があった利用者なので気を付けていたが、十数秒の間に姿が見えなくなるとは思わなかった。職員同士の声掛け・目を離さない見守りを徹底する。
出入口のサッシの鍵が壊れているので修理する。

(5) 苦情報告

特にありません。

3. 各委員会からの報告

身体拘束の報告 (11月～12月) … なし
虐待の報告 (11月～12月) … なし
ヒヤリハットの報告 上記 2.(3) にて説明

※現在、職員のチェックリスト作成中。来年度より開始。

4. 活動報告

< 行事報告 >

11月21日(木) 出雲市による運営指導

出雲市役所高齢者福祉課の職員の方が2名来所されました。

11月21日(木) インフルエンザ予防接種

牧野内科医院の先生が来所。施設にて職員と入所者数名が集団で接種。

11月26日(火) 運営推進会議

令和6年度 第4回、運営推進会議を開催しました。

12月10日(火) グループホーム相談員 来所

相談員2名が来所。利用者は話をゆっくり聞いてもらっていました。

12月24日(火) クリスマス会

今年は久しぶりに職員による出し物をしました。銭太鼓やハンドベルの演奏、正月の傘回しや手作り獅子舞いなども登場して、とても賑やかな会でした。

< 研修・活動 >

11月18日～22日(内4日間) 島根県立大学 老年看護学実習 ③ (2名)

11月25日～28日(内3日間) 島根県立大学 老年看護学実習 ④ (1名)

5. 意見交換

Q. 市役所) 事故報告のベッド下の床に座っていた方は、以前からある行動なのですか？

A. 管理者) 以前は、自立で歩かれていた方でしたが、大腿部を骨折して1ヶ月以上入院されてから歩行が困難になりました。自分ではまだ歩けると思っているようです。

Q. 市役所) 骨折したのは入所してからですか？

A. 管理者) はい。夜中にベッドから立ち上がった際にバランスを崩して転倒され、救急搬送された後に入院となりました。

次回は、3月18日(火)です。